

巣立ちの春

たまがわっ子

ニュース

2026年(令和8年)
春号
季刊(年4回)発行

玉川地区
コミュニティスクール
発行所
玉川地区コミュニティセンター内
(玉川コミュニティセンター内)
No.0266-71-1605
Mail:tamagawa.bo@city.chino.lg.jp





三月十四日(土)のどんぐり保育園をスタートに、十七日(火)に玉川小学校、十八日(水)に東部中学校、そして二十三日(月)には玉川保育園と小泉保育園でそれぞれ卒業式、卒業式が行われました。

このうち、玉川小学校では、一八名の卒業生が校長先生から卒業証書を授与される姿に、そして児童のハーモニイに、会場内では目に光るものを湛える姿が印象的でした。

また、堂々と体育館へ入場した卒業生を大きな拍手が包んだ茅野市立東部中学校卒業式は、一三名の卒業生を送り出しました。送辞、答辞の心のこもった内容や卒業生合唱で表現された、別れを悲しみつつも希望に向かって羽ばたき、力強さに、コロナ禍を乗り越えた逞しさと優しさを感ずりました。

皆さんが学校生活で出会った人、経験したこと、そして来春からの新しい生活の中でも大切に宝物を増やしてほしいです。

また、玉川地区三保育園では、どんぐり、森こども園を二十八名、玉川保育園を五十名、小泉保育園を十八名の園児が巣立っていききました。二週間もすると小学生、不安よりも期待の方が大きそうな元気な子どもたちが、卒業式でもたの姿が印象的

な卒業式でもたの姿が印象的

名前を呼ばれることも、
返事をすることも今日が最後
一瞬一瞬を大切に

~巣立ちの日~ 卒業式



市川校長先生から、みんなが学んだ中学校生活の数々を振り返っていただきました。また、在校生からの先輩方への感謝の思いが込められた送辞を受け、の答辞では、三年間の思い出を言葉に心を込めて、会場の先生方、在校生、そして保護者に伝えてくれました。

四月からはそれぞれの道、無限の可能性に向かってチャレンジだ！



四月一日(水)の入園式を経て玉川保育園二三名、小泉保育園五十三名、どんぐりの森こども園一五〇名の子どもたちが令和八年度の園での生活を、また四月六日(月)の入学式において玉川小学校九十五名、東部中学校一三一名の子ととも新たな環境での学校生活をスタートさせました。それぞれの入園式、入学式では先生方から歓迎の歌の披露、児童および生徒代表による歓迎のことば、新入生代表による挨拶など様々な工夫を凝らした式典となりました。



春のあいさつ運動

入園式、入学式の飾りつけもそのままの四月七日(火)より十三日(月)の一週間にわたり恒例の「あいさつ運動」が大勢の関係者の参加で行われました。コロナ禍では遠慮がちだった児童も元気よく「おはようございます！」見守る側の大人のほうが元気をもらっての一日のはじまりでした。 ※会場は玉川小学校、玉川保育園、どんぐりの森こども園、小泉保育園、東海大学諏訪高校、東部中学校と玉川地区の子どもたちが関わる全ての園および学校にて。また、写真上は東部中学校での、下は玉川小学校での当日の様子です。



編集後記

春の訪れが早く、桜の花びらがちらほら見られる景色の中、大勢の新入園児・新入学生の姿を見ることができました。中学校では、少し(だいぶ?) 大きな制服に身を包んだ中学生の姿も春の景色の定番になりました。皆さんのその大きな制服の袖からシャツの白色が顔をのぞかせるころ、次のステージにチャレンジしていることになりましたね。それまで三年間、一〇九五、二六二八〇時間、案外と短い。二度とない時間、大切に! (広報担当)